

秋田大学

秋田大学の教育・研究資源のひとつに  
「芸術」の領域があります。  
「秋田大学 芸術祭」では、  
秋田大学の「芸術領域」における  
教育・研究活動を紹介します。

# 芸術祭

美術

Fine Arts  
&  
Design

秋田大学発！アートの世界へようこそ

会期：平成19年9月6日(木)―10日(月)

時間：10:00―17:00 初日のみ 12:00開場 / 最終日のみ 15:00開場

会場：アトリオン2階第1展示室A 秋田県秋田市中通二丁目3番8号

音楽

Music

ジャパニーズ・アイデンティティー  
音楽における日本美の表現――

期日：平成19年9月8日(土)・9日(日)

会場：アトリオン音楽ホール 秋田県秋田市中通二丁目3番8号

# 美術

Fine Arts  
&  
Design

## 秋田大学発! アートの世界へようこそ

会期:平成19年9月6日(木)―10日(月)

時間:10:00―17:00 初日のみ 12:00開場/最終日のみ 15:00開場

会場:アトリオン2階第1展示室A 秋田県秋田市中通二丁目3番8号

### 伊藤 隆 本学教授・絵画(洋画)

主に油彩による具象作品を描いている。テーマは主として、風景画的静物画および静物画的風景画の構築である。

《作品》

- ①「原風景」油彩 810×194cm (F130号×5) 2007年
- ②「晩秋岬」油彩 194×130cm (F120号) 2007年
- ③「海浜風景-I」油彩 162×130cm (F100号) 2007年
- ④「海浜風景-II」油彩 162×112cm (P100号) 2007年

### 猪巻 明 本学准教授・絵画(日本画)

和紙、岩絵具を材料として、植物を中心とした花鳥画的風景画の制作を行っている。

《作品》

- ①「秋草」167×209cm
- ②「芥子」167×209cm
- ③「万葉秋草」150×150cm
- ④「秋興」145×71.5cm
- ⑤「梅雨ばれ」145×71.5cm

### 笠原幸生 本学教授・彫刻

木や石膏を原型とするブロンズ、陶などの素材を用いて、太陽や月などの宇宙と地球との関係、秋田の自然などをテーマに抽象彫刻を制作しています。

《作品》

- ①「時標」木、ブロンズ 140×120×80cm 2007年
- ②「4連の山」ブロンズ 30×50×40cm 2007年

### 長沼雅彦 本学教授・書

「伝統と現代性」を常に考えています。

《作品》

- ①「書譜」の一節
- ②「徳門集慶」
- ③「与謝蕪村句」
- ④「平家物語」の一節
- ⑤「論語」の一節

### 遠藤敏明 本学教授・美術教育(工芸)

「白神の森」教育プロジェクト実行委員会のための秋田産材を利用した織機の開発

「白神の森」教育プロジェクト実行委員会では、秋田大学の基本目標である「環境」と「共生」への一つの取組として、環境資源のワイズユースを媒介にした持続可能な地域づくりについて検討している。

秋田には木材の他、羊毛や染めに利用できる資源が豊富である。これらの資源利用について、北欧のスロイド(クラフト)教育に見られる先行事例を参考にしつつ、教育的、社会的に実現可能な方向を模索している。

本展で展示する織機類は、秋田大学大学院教育学研究科在籍の三浦真理子さんと、教育用として適切な道具を共同研究し、遠藤が制作した。

### 長瀬達也 本学准教授・美術教育

秋田県自由画教育の研究

山本県を中心とする自由画教育は、大正期に長野県で生まれて全国に展開したもので、日本の図画教育に初めて「創造・自由・個性」を導入したと考えられる。この自由画教育は、北東北の秋田県ではどのように出発し、いかなる軌跡を歩んだのだろうか。秋田県自由画教育に関する研究の一端を紹介する。

### 石井宏一 本学准教授・デザイン

「かたち」と「数理」の間で―

情報に「かたち」を与える、すなわち「情報表現」は、今日の情報化社会の進展の中で、またデザインの実務や研究において、大変重要性を増してきている行為のひとつです。

本展で展示する「かたち」は、「定量的情報表現」の観点から、数理システムをコンピュータ・グラフィックスによって可視化することにより得られたものです。そのいずれもが人間の創造力では思いもつかないような表情や趣を示すことに驚かされ、感動を覚えてしまいます。案外、情報表現の研究の面白さは、このようなどころにあるのかもしれないと思っています。

# 音楽

Music

## ジャパニーズ・アイデンティティー 音楽における日本美の表現——

期日：平成19年9月8日(土)・9日(日)

会場：アトリオン音楽ホール 秋田県秋田市中通二丁目3番8号

日頃は、西洋音楽を基軸とした音楽活動(あるいは教育活動)を展開しながらも、  
その中でいかに「日本」を意識し、  
「日本文化」あるいは「日本の美」の表出の課題と取り組んでいるかを、  
演奏、作曲、音楽学、音楽教育の立場から表明します。

■ 9月8日(土)14:00開演  
(13:30開場)

四反田素幸 本学教授・作曲

《作品発表》

- ・「道」～尺八独奏のためのシーン～  
【演奏】田辺湧山(尺八)
- ・「夢採集」～二面の箏のための～  
【演奏】市川慎・菊地奈緒子(箏)

武内恵美子 本学准教授・音楽学(日本音楽史)

《講演》

長唄の自然表現

【曲目】秋の色種<sup>いろいろ</sup>

【演奏】今藤政子(長唄)／今藤政音・今藤政智(三味線)／  
市川慎(箏)

桂博章 本学教授・音楽教育学・音楽学

《講演》

郷土の芸能と音楽教育

- ・西馬音内盆踊り(国指定重要無形民俗文化財)

【実演】西馬音内盆踊り保存会

■ 9月9日(日)14:00開演  
(13:30開場)

斎藤洋 本学准教授・ピアノ

《ピアノ独奏》

滝廉太郎と山田耕筰のピアノ曲

- ・滝廉太郎：メヌエット／憾
- ・山田耕筰：からたちの花／クランフォード日記  
／「荒城の月」変奏曲

爲我井壽一 本学准教授・声楽

《テノール独唱》

滝廉太郎と山田耕筰の歌曲

- ・滝廉太郎：花／秋の月／荒城の月
- ・山田耕筰：赤とんぼ／かやの木山の／鐘が鳴り  
ます／この道

佐川馨 本学准教授・音楽教育・管楽器

《トロンボーン・アンサンブル》

和と洋、そして秋田の出会い

- ・三浦真理：記憶のバストラル
- ・成田為三(名取牧人編)：浜辺の歌 ほか

【トロンボーン・アンサンブル】高橋智弘・長谷川怜緒・佐々木渉

《主催》秋田大学

《後援》秋田県教育委員会・秋田市・秋田市教育委員会・秋田魁新報社

《問い合わせ先》秋田大学社会貢献・国際交流課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

TEL：018-889-2270/FAX：018-889-3012

E-mail：syakoku@jimui.akita-u.ac.jp

《秋田大学ホームページ》<http://www.akita-u.ac.jp/>

## ●会場までのアクセス



### ■お車でお越しの方

アトリオンビル向かいのアトリオン南駐車場をご利用ください。

※営業時間 24時間営業

※利用料金 最初の1時間300円、以後30分ごとに100円ずつ加算  
(例 2時間で500円)

### ■車椅子でお越しの方

アトリオン内(地下2階)に車椅子専用の駐車場があります。  
(満車の場合など、ご利用いただけない場合があります)

### ■自転車でお越しの方

アトリオン地下駐輪場(仲小路側が出入口)をご利用ください。

※営業時間 午前7時～午後9時

※利用料金 1日60円